

学びのススメ

「本は キラキラ 万華鏡」

4月23日(木)～5月12日(火)までの約3週間、「本は キラキラ 万華鏡」という標語のもと、「こどもの読書週間」が全国的に展開されています。

「こどもの読書週間」は、子どもたちにもっと本を！との願いから1959年(昭和34年)にはじまりました。4月から5月にかけては、「国際子どもの本の日(4月2日)」「サン・ジョルディの日(4月23日)」などの記念日、関連イベントもたくさん行われています。また、2001年12月公布の「子ども読書活動推進法」により、4月23日が「子ども読書の日」となった影響もあって、「こどもの読書週間」は年々盛り上がりを見せています。

標語では、本を「万華鏡」にたとえています。万華鏡は筒を回転させることでさまざまな色や模様を見ることができるものです。読書を通して、様々なことが得られるということを表現しているのでしょう。

以下、読書がもたらす効果を挙げてみます。みなさんにとってプラスに働くことがたくさんありますので、この機会に是非、読書に親しんでみてください。(忙しいから無理…なんて言わずに、5分でも10分でもいいですから、取り組んでみてください。)



【効果1】思考力を養うことができる。

→ 想像力がふくらみ、思考力が育つ。

【効果2】人の気持ちをくみ取れるようになる。

→ 登場人物の気持ちを読み取ることで、周りの人の気持ちをくみ取れるようになる。

【効果3】集中力がアップする。

→ 小さな頃から読書をする習慣を持つことで、集中力がアップする。

【効果4】リラックス効果が高く、ストレスを解消できる。

→ たった6分間の読書が、ストレスの3分の2以上を軽減する効果があるそうだ。

【効果5】語彙が豊富になり、表現力が育つ。

→ 文章を書いたり、話したりする時の表現力を高めることができる。



今年度より、中央公民館主催で「図書宅配便」という事業がスタートします。公民館の本を学校を通して申し込めば、公民館に行かなくても、学校まで宅配してもらえるとというシステムです。5月11日(月)から運用を開始しますので、積極的に活用してください。